

晴嵐館報

ご挨拶

公益財団法人に移行して7年が過ぎました。去る5月5日の理事会、5月26日の定時評議員会において、30年度の事業報告、収支決算が承認されました。本号に事業報告と収支決算の一部分を掲載しました。詳しくは晴嵐館ホームページをご覧ください。

展示室では、企画展示「晴嵐の書～余白の表現」を開催しています。是非足をお運びください。晴嵐作品を一人でも多くの方にご覧いただく存じます。また、秋季特別展では「台北故宫博物院の書画Ⅱ」、10月11日からは企画展示「晴嵐の書～連綿の表現」を架け替え展示します。書道文化の向上を図ってまいります。

9月には師範選抜書展、書道教育講習会、練成会、10月から秋季検定試験、翌1月には書き初め展を実施いたします。書道に携わる人材の育成をさらに推進します。

今後も書道を通じて公共の利益増進に努めてまいります。維持会費および寄付金のご納入をお願いしております。晴嵐館の活動に対しまして何卒ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

ご案内

- 晴嵐館展示案内
- 秋季練成会、受験相談会
- 書道教育講習会
- 師範選抜書展
- 中道書き初め展（作品募集）
- 教室案内（毛筆・篆刻）
- 日展作品研究会
- 秋季検定試験
- 展覧会お出かけガイド

事業結果報告

- 教室作品展
- 師範証授与式、師範会
- 文房四宝講習会
- 練成会、受験相談会
- 師範合格者
- 筆供養

- 第15回理事会

- 第8回定時評議員会
- 平成30年度事業報告書（抜粋）
- 平成30年度損益決算書

- 寄附者リスト
- 寄附金募集
- 会員募集・会費納入のお願い

ご案内

晴嵐館展示室案内

企画展示

「大池晴嵐の書～余白の表現」

9月25日まで 木曜休館 観覧料300円

余白を活かした表現の作品を展示しています。晴嵐の肉筆、墨色の妙を是非ご覧ください。

特別展示

「台北故宫博物院の書画Ⅱ」（複製展示）

9月27日～10月9日 木曜休館

観覧料300円

台湾故宫博物院収蔵の中国書画複製を展示します。

企画展示

「大池晴嵐の書～連綿の表現」

10月11日～令和2年3月25日 木曜休館

観覧料300円

文字連綿を表現した作品を展示します。晴嵐の肉筆、墨色の妙を是非ご覧ください。

毛筆・硬筆 秋季練成会・相談会

秋期検定試験・師範試験を実施するにあたり、作品制作の実技指導をすることにより、合格ラインへのレベルアップをはかります。

日時 9月6日（金）午前10時～12時

会場 晴嵐館 錬心講堂

会費 3,000円（硬筆・毛筆ともに受講可）

用具 硬筆 ペン・ボールペン一式

毛筆 書道用具一式

参加申込 8月29日まで

書道教育講習会

「かなへのいざない」

かな連綿や散らし書きの形式など、かな書道の楽

しみ方を学びます。

日 時 9 月 6 日 (金) 午後 1 時～3 時
場 所 晴嵐館 錬心講堂
講 師 日展会友 山本雅月氏
会 費 1,000 円 (資料代含む)
定 員 20 名 (定員になり次第締め切ります)
用 具 かな用具一式必要

第 44 回 師範選抜書展

9 月 10 日 (火)～15 日 (日)

名古屋市民ギャラリー栄 7 階

公益財団法人晴嵐館が認定する書道師範が腕をふるいます。是非ご覧ください。晴嵐館では、書道の教育者育成のため、漢字・かな・ペン (硬筆) の各ジャンルで師範位を認定し、書道の普及発展につとめています。入場無料。

第 37 回 中道書き初め展作品募集 (公募)

書き初めを通じて、学童ならびに指導者の技能向上をはかり、書道文化の普及と書写書道教育の発展に寄与する。

- 作品 半折 1/4 たて書き (八ツ切り)
 - 課題 中道誌 1 2 月号課題 (※書体は教育書体)
 - 作品には学年・氏名明記のこと
 - 出品料 450 円 (ただし中道誌会員は 350 円)
 - 出品締切 令和 2 年 1 月上旬 (予定)
 - 褒賞 各学年ごとに、一席・二席・三席・庚子賞・晴嵐館賞・中道賞・推薦・特選・金賞・銀賞 (全員に賞品賞状を授与)
 - 表彰 令和 2 年 1 月下旬 (予定)
 - 誌上掲載 中道誌 3 月号
 - 作品送先 晴嵐館 中道書き初め展係
- ※作品は晴嵐館に保管し返却しません

教室案内 (毛筆研究)

毎月第 1・3・4 土曜日 午前 10 時～12 時 (都合により変更あり)
初心者から手ほどき 検定試験、展覧会作品の指導もいたします。
定員 15 名 (現在余裕あります)
指導 大池青岑氏 (日展会友)
受講料 4000 円/月 (展示室観覧料含む)

教室案内 (篆刻研究)

毎月第 3 月曜日 午前 10 時～12 時 (都合により変更あり)
印稿作りと刻法・印学を学習します。各自思い思

いのことばを方寸の石印材に刻し、印章を仕上げます。

定員 15 名 (現在余裕あります)
講師 岡野楠亭氏 (日展会員)
受講料 3000 円/月 (展示室観覧料含む)

日展 作品研究会

日展出品作品を 2～3 点お持ち寄りください。
9 月 1 日 (日)、15 日 (日)、22 日 (日)
午前 11 時～12 時

秋季 検定試験・師範試験

【一般部】

書芸中道漢字 10 月 29 日作品締切

書芸中道かな 11 月 26 日作品締切

硬筆中道 12 月 20 日作品締切

【学生部】

毛筆中道 11 月 1 日作品締切 (受験申込 10 月 4 日)

硬筆中道 11 月 29 日作品締切

展覧会お出かけガイド

道風記念館

企画展

「おののとうふう～小野一族のひみつ～」

9 月 1 まで 月曜休館

特別展

「川谷尚亭～神々しきその書～」

9 月 6 日から 10 月 14 日まで 月曜休館

企画展

「黒野清宇の書」

10 月 18 日から 11 月 4 日まで 月曜休館

館蔵品展

「書の魅力」

11 月 7 日から 2 月 2 日まで 月曜休館

(電車) JR 中央線 勝川駅下車、タクシー 10 分
(車) 名二環上り線は松河戸 IC から 3 分、下り線は小幡 IC から 5 分

成田山書道美術館

「にっぽんのでほん 和刻法帖」

10 月 26 日から 12 月 15 日まで

月曜休館

J R・京成 成田駅下車タクシー

毎日書道展 東海展

愛知県美術館

11月6日から10日まで

読売書法展 中部展

愛知県美術館

11月27日から12月1日まで

徳川美術館

特別展「良寛さん その人と書」

前期展 11月16日から12月15日まで

後期展 1月4日から1月31日まで

月曜休館

(名古屋基幹バス)「徳川園新出来」下車徒歩3分
(メーグル)「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車

書道博物館

企画展

「漢字のなりたち—古代文字の世界—」

《子供向け》9月23日まで

《大人向け》9月25日から12月15日まで

月曜休館

JR 鶯谷駅(北口) 徒歩5分

事業結果報告

教室作品展

平成31年3月15・16日



出品者 一般書道50名、招待1名、賛助1名、篆刻8名、こども学生書道68名

師範証授与式、師範会

平成31年3月30日

- 第1部 師範証授与
- 第2部 師範会 31年度予定
- 第3部 検定試験、毎月の競書について、その他
- 第4部 文房四宝講習会

文房四宝講習会

平成31年3月30日

「淡墨の使い方」

講師 興文会会長 松下英風氏

参加者 43名

春季 書芸中道(毛筆・硬筆)

錬成会・受験相談会

平成31年3月30日

参加者 13名

令和元年度春季 師範合格者

下記8名の方が新しく師範に合格されました。今後は指導者としてさらにご活躍されますようお願いいたします。

【毛筆漢字】池田和香、太田彩泉、永戸溪水、舟木剛【毛筆かな】牧原政子【硬筆】石井保子、宇佐美吉恵、水野祐希(敬称略)

筆供養

今年は122本の筆が献納され、7月6日(土)午前9時半から筆供養を厳修いたしました。使い古しの筆を供養することを通じて、道具を大切に扱う心を養うとともに、書道技術上達を祈念しました。ご献納されました皆様には厚くお礼申し上げます。

令和元年5月5日 第15回理事会

第1号議案 平成30年度の事業報告書の承認について

第2号議案 平成30年度の計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び付属明細書、財産目録の承認について

第3号議案 監査報告

第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決議について

第5号議案 その他 なし

令和元年5月26日 第8回定時評議員会

第1号議案 平成30年度の事業報告書の報告について

第2号議案 平成30年度の計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び付属明細書、財産目録の承認について

第3号議案 その他 なし

平成30年度事業報告書(抜粋)

I 書道振興事業(公益目的事業1)

1. 収集、保存および調査研究

(1) 作品等の展示資料収集

- 大池晴嵐作品 7 点 (軸 個人からの寄贈)「太乙詩 哭緑天上人」「賈至詩 春思」「わがさとを」「五言絶句」「身閑なれば」「真言宗名号」「爐香一縷雲」
- 大池晴嵐作品 1 点 (額 個人からの寄贈)「灑々落々」
- 大池晴嵐折帖 1 点 (折帖かな手本 個人からの寄贈)「とりな」
- 大池晴嵐資料 1 点 (木字 個人からの寄贈)「眉分八字」
- 大池晴嵐資料 1 点 (扇面 個人からの寄贈)「北窓閑坐」
- 大池晴嵐資料 1 点 (半紙千字文章書手本 個人からの寄贈)「天地玄黄」
- 伊藤穿石資料 1 点 (着物型紙 個人からの寄贈)「散氏盤」
- 伊藤穿石資料 1 点 (染め布 個人からの寄贈) 散氏盤
- 中国拓本 1 点 (額個人からの寄贈)「禪國山碑」

(3) 作品等の保存・保管

収蔵作品などは、晴嵐館本館 1 階および 2 階の収蔵庫に保存。高額
の図書資料は、錬心講堂の書庫に保管。湿度や空調等に配慮し、湿度
の高い日には除湿機を運転し保全をはかった。

(4) 調査研究活動

① 収集作品および資料に関する基礎的研究

収集した作品資料等の基礎的調査研究を行い、展示室ならびに 8 月
に名古屋市博物館ギャラリーで開催の中道書法展、9 月に名古屋市民
ギャラリーで開催の師範選抜書展における展示に反映した。

② 大池晴嵐作品等の所蔵調査

30 年度の調査数は 2 件あった。

③ 博物館の展示運営等に関する調査研究

- 名古屋ボストン美術館 展示ケース・備品見学会

日 時 平成 30 年 10 月 16 日 (火) 午前 11 時～12 時

場 所 名古屋ボストン美術館

テーマ 展示ケースと備品見学

派遣 1 名

- 博物館職員等研修会

日 時 平成 30 年 12 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所 刈谷市博物館

テーマ 「新・文化財保護法とミュージアム」

派遣 2 名

- 部門別研修会

日 時 平成 31 年 3 月 13 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所 トヨタ産業技術記念館

テーマ 「資料の収蔵について」

派遣 1 名

④ 博物館視察

- 「年画を刷ってみよう」ワークショップ

日 時 平成 30 年 4 月 24 日 (火)

場 所 名古屋大学博物館

派遣 1 名

- 「モネ展」レセプション

日 時 平成 30 年 4 月 24 日 (火)

場 所 名古屋市美術館

派遣 1 名

- 「良寛展」

日 時 平成 30 年 5 月 26 日 (土)

場 所 永青文庫

派遣 1 名

- 「スタジオジブリ 鈴木敏夫言葉の魔法展」オープニング

日 時 平成 30 年 6 月 23 日 (土)

場 所 松坂屋美術館

派遣 1 名

- 「日本の書」講演会

日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火)

場 所 愛知県立芸術大学

派遣 1 名

- 「ビュールレ美術館展」開会式

日 時 平成 30 年 7 月 27 日 (金)

場 所 名古屋市美術館

派遣 1 名

- 「川端康成と横光利一展」

日 時 平成 30 年 11 月 10 日 (木)

場 所 三重県立美術館

派遣 1 名

2. 展示、公開、貸出および刊行

(1) 作品等展示公開

① 常設展示

- 「晴嵐の書業」

② 企画展示

- 「晴嵐の書」～にじみの表現Ⅰ～ (4 月 13 日～9 月 26 日)

30 年度前半期の展示は、大池晴嵐 (昭和 52 年没) 作品の中から、に
じみを表現した作品 10 点を展示。有料入場者数は 125 名であった。

- 「晴嵐の書」～にじみの表現Ⅱ～ (10 月 12 日～31 年 3 月 27 日)

30 年度後半期の展示は、大池晴嵐作品の中から、にじみを表現した
作品 10 点を展示。有料入場者数は 103 名であった。

③ 特別展示

- 郷土の書家Ⅳ～「晴嵐の嗣子 青山楓谷逝世 50 年展」(30 年 3 月 23 日～4 月 11 日)

29 年度から引き続きの春季特別展示は、郷土の書家として、晴嵐の
次男で書の後継者であった青山楓谷逝世 50 年にあたり、遺作 33 点
等を展示。4 月 1 日からの有料入場者数は 63 名であった。

- 「台北故宮博物院の書画Ⅰ」(複製展示) (9 月 28 日～10 月 10 日)

秋季特別展示は、台湾故宮博物院に収蔵の書画作品（複製）を展示。複製とはいえ、中国歴代王朝が継承した名筆・名画 16 点。有料入場者数は 2 名であった。

- 郷土の書家 V（31 年 3 月 29 日～4 月 10 日）

春季特別展示は、郷土出身の書家 11 名 12 点を展示。3 月 31 日までの有料入場者数は 13 名であった。展示作品は次のとおり。

- (2) 庭園の公開
- (3) 作品等の貸出

平成 30 年度の貸し出しは無かった。

- (4) 収蔵資料・展示資料目録、書道文化関連資料等の刊行

- 青山楓谷 50 年展作品図録
- 大池晴嵐生誕 120 年記念展示作品集

II 書道育成事業（公益目的事業 2）

1. 書道教育者の育成、書道の資格を認定する事業

(1) セミナー事業

① 毛筆教室

日 時 毎月 3 回 土曜日 午前 10 時～12 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

指 導 日展会友 大池青岑氏

受講のべ人数 95 名

② 篆刻教室

日 時 毎月 1 回第 3 月曜日午前 10 時～12 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

指 導 日展会員 岡野楠亭氏

受講のべ人数 117 名

③ 書道教育講習会

- 小作品制作シリーズ「古筆から学ぶかなの魅力」

日 時 平成 30 年 9 月 7 日（金）午前 10 時～12 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

講 師 日展会友 清水春蘭氏

参加者 7 名

内 容 かな古筆を鑑賞臨書し、筆法、線美、行の流れなど、かなの魅力を学んだ。

④ 毛筆・硬筆錬成会

- 秋季毛筆・硬筆錬成会・受験相談会

日 時 平成 30 年 9 月 7 日（金）午後 1 時～3 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

講 師 大池青岑氏、新田双桃氏

参加者 6 名

- 春季毛筆・硬筆錬成会・受験相談会

日 時 平成 31 年 3 月 30 日（土）午後 1 時～3 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

講 師 大池青岑氏、新田双桃氏、倉田朝華氏

参加者 13 名

⑤ 文房四宝講習会

日 時 平成 31 年 3 月 30 日（土）午前 10 時 45 分～12 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

講 師 興文会会長 松下英風氏

題 目 「淡墨の使い方」

内 容 淡墨を使って作品を書くための、墨の扱い方、紙の選び方、線の引き方、にじみやかすれの墨色の表現などを学ぶことができた。

参加者 43 名

⑥ 書道師範研修会・交流会

- 師範会

平成 31 年 3 月 30 日（土）、平成 30 年度合格の新師範 8 名への認定証授与式をはじめ、師範選抜書展などの年間スケジュールの確認、技術的側面における師範相互の交流をはかった。また、文房四宝講習会を実施し、技術的技能向上をはかった。出席者は師範 38 名（新師範出席 7 名を含む）、一般参加者 5 名。

⑦ 美術作品鑑賞会

書画等作品鑑賞による鑑識眼および技能を養うため、美術館・博物館で開催の美術展示の鑑賞を促進した。鑑賞希望者を広く一般に募集し、「ビュールレ美術館展」「モネ展」の観覧券を頒布した。募集方法は館報による。

⑧ 作品研究会

- 中日書道展作品研究会 平成 30 年 4 月 8・15・22 日 午前 11 時～12 時

- 読売書法展作品研究会 平成 30 年 5 月 13 日、6 月 3 日、7 月 1 日 午前 11 時～12 時

- 日展作品研究会 平成 30 年 9 月 2・16・23 日 午前 11 時～12 時

- 謙慎書道展作品研究会 平成 31 年 1 月 13・27 日 午前 11 時～12 時

⑨ 相談会

- 書道教育相談

晴嵐館が主催する競書、検定試験、展覧会のほか、教室運営、技術学術等に関する相談を受け付けた。平成 30 年度は書道教育に関する 11 件の相談が寄せられ、電話等により対応した。

(2) 書道の資格認定

① 競書

- 一般対象 硬筆 毎月 1 回月末作品締め切り
- 学生対象 硬筆 毎月 1 回月末作品締め切り
- 一般対象 毛筆 毎月 1 回月末作品締め切り
- 学生対象 毛筆 毎月 1 回月末作品締め切り

② 検定試験・師範試験

- 一般毛筆・硬筆昇段級検定試験、師範試験

実施時期 春秋 2 回（漢字－4 月、10 月 かな－5 月、11 月 硬筆－6 月、12 月）

対 象 一般

受験者数 春季漢字 256 名、春季かな 122 名、秋季漢字 237 名、秋季かな 105 名、春季一般硬筆 98 名、秋季硬筆一般 88 名

- 学生毛筆・硬筆昇段級検定試験

実施時期 毛筆－春秋 2 回（5 月、10 月）、硬筆－春秋 2 回（6 月、11 月）

対 象 学生

受験者数 春季毛筆 1808 名、春季硬筆 1062 名、秋季毛筆 1880 名、
秋季硬筆 1065 名

● 師範試験

(イ) 一般毛筆漢字師範試験 (4 月、10 月) 4 月の受験者数 17 名、
10 月の受験者数 13 名

(ロ) 一般毛筆かな師範試験 (5 月、11 月) 5 月の受験者数 6 名、11
月の受験者数 3 名

(ハ) 一般硬筆師範試験 (6 月、12 月) 6 月の受験者数 9 名、12 月
の受験者数 9 名

③ 審査編集

- 5 月 4 日 (金) 一般毛筆春季漢字部検定試験審査
- 6 月 1 日 (金) 一般毛筆春季かな部検定試験審査
- 6 月 5 日 (火) 学生毛筆春季検定試験審査
- 6 月 29 日 (金) 一般硬筆春季検定試験・師範試験審査
- 7 月 3 日 (火) 学生硬筆春季検定試験審査
- 11 月 2 日 (金) 一般毛筆秋季漢字部検定試験・師範試験審査
- 11 月 6 日 (火) 学生毛筆秋季検定試験審査
- 11 月 30 日 (金) 一般毛筆秋季かな部検定試験・師範試験審査
- 12 月 4 日 (火) 学生硬筆秋季検定試験審査
- 12 月 25 日 (金) 一般硬筆秋季検定試験・師範試験審査

④ 段級位認定証の発行

師範位以外の認定証は各教室において指導者より授与した。

⑤ 書芸中道・硬筆中道師範証授与式

日 時 平成 31 年 3 月 30 日 (土) 午前 10 時

場 所 晴嵐館 練心講堂

内 容 平成 30 年度毛筆漢字師範合格者 2 名、硬筆師範合格者 6 名
に師範証を授与

⑥ 競書優秀作品展示

毎月の競書作品および検定試験受験作品の中から選ばれた最優秀作
品 (一般から学生まで、毛筆および硬筆の作品) を随時掛け替え展
示し、書道を志す者の作品制作の指針とした。

2. 書道公募展事業 (コンクール)

平成 30 年度は、次の (1) ~ (5) の展覧会を実施した。

(1) 第 35 回中道書法展

会 期 平成 30 年 8 月 22 日 (水) ~ 26 日 (日)

会 場 名古屋市博物館 3 階ギャラリー

対 象 一般から公募 (15 歳以上)

応募点数 公募作品 77 点と委嘱作品 92 点

展示点数 応募・委嘱作品 169 点、賛助作品 2 点、特別展示 37 点 (晴
嵐作品 3 点、青山楓谷作品 33 点、中国拓本 1 点) の合計 208 点

入場者数 2,465 名

後 援 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

審査会 平成 30 年 7 月 1 日 (日) 午後 1 時 ~ 3 時 (10 名の審査員に
より審査)

表彰式 平成 30 年 8 月 26 日 (日) 午後 3 時 15 分 ~ 45 分、名古屋市
博物館 地下講堂において 87 名を表彰

(2) 第 48 回全国教育書道展

会 期 平成 30 年 8 月 22 日 (水) ~ 26 日 (日)

会 場 名古屋市博物館 3 階ギャラリー

対 象 幼年、小学生中高校から公募

応募点数 6,814 点

展示点数 入賞作品 998 点と招待作品 7 点の合計 1005 点

審査会 平成 30 年 7 月 8 日 (日)、11 名の審査員により審査

表彰式 平成 30 年 8 月 26 日 (日)、名古屋市博物館地下講堂におい
て 126 名を表彰

賞品賞状授与 8 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日) の 2 日間、入賞者に賞
品と書状を会場内で授与。

(3) 第 43 回晴嵐館師範選抜書展

会 期 平成 30 年 9 月 11 日 (火) ~ 16 日 (日)

会 場 名古屋市民ギャラリー栄 第 6・7 展示室 (名古屋 栄 中
区役所ビル 8 階)

出品者 指導者 64 名の選抜作品展示、大池晴嵐生誕 120 年記念小品
展示

入場者数 650 名

(4) 第 36 回中道書き初め展

会 期 平成 31 年 2 月 2 日 (土)

会 場 江南市民文化会館 1 階展示室

対 象 幼年、小学生、中学生、高校生から公募

応募点数 1744 点

展示点数 入賞作品 350 点

審査会 平成 31 年 1 月 13 日 (日)、6 名の審査員により審査

表彰式 平成 31 年 2 月 2 日 (土)、同会館 2 階会議室において 57 名
を表彰

(5) 晴嵐館書道教室作品展

会 期 平成 31 年 3 月 15 日 (金)・16 日 (土)

会 場 江南市民文化会館 1 階展示室

対 象 教室受講者ほか (一般、学生)

内 容 一般書道 (毛筆、ペン)、篆刻、こども学生書道の作品展示
出品者 一般書道 50 名 (招待 1 名、賛助 1 名)、篆刻 8 名、こども
学生書道 68 名

3. その他

(1) 図書資料等の貸出

平成 30 年度の貸出実績は 58 件。

(2) 筆供養

平成 30 年度は、7 月 7 日 (土) 午前 9 時 30 分より筆供養を厳修した。

供養の導師は真言密教系の僧侶による。祈祷と呪文を唱えながら使
い古しの筆を燃やした。122 本の筆が広く一般から献納された。供養
料は無料。

(3) 賞状交付等 (書道僱事支援事業)

- 第 66 回多度大社奉納書き初め大会に対し後援並びに晴嵐館賞
20 名表彰 (2 月)

- 第 36 回秋津書人書道展に対し後援 (3 月)

(4) 書道記念事業

- 青山楓谷 50 年記念展

晴嵐の嗣子青山楓谷没後 50 年にあたり、中道書法展 (8 月) と併催
して遺作 33 点ならびに資料を展示した。

● 大池晴嵐生誕 120 年記念展示

平成 30 年度は大池晴嵐生誕 120 年にあたり、師範選抜書展（9 月）と併催して小作品 17 点を展示した。

(5) 施設の貸与

今年度は 2 件の利用があった。

(6) 研究成果の公表（書道および書道教育に関する研究）

- 「禅語研究」名古屋大学名誉教授・文学博士 田島毓堂氏
 - 「漢文研究」愛知教育大学・皇学館大名誉教授 野村茂夫氏
- (7) 広報事業（情報公開・事業の情報提供）

① 機関誌

● 『中道』639 号～650 号

発行 B5 版 28～32 ページ 毎月 25 日 2080 部／月（前年比＋21 部）

内容 教育書道（毛筆・硬筆）研究、事業案内、審査結果・成績・優秀作品掲載

対象 学生（幼年～高校生）

● 『書芸中道』578 号～589 号

発行 B5 版 28～32 ページ 毎月 25 日 591 部／月（前年比＋6 部）

内容 芸術書道（毛筆・硬筆）研究、事業案内、審査結果・成績・優秀作品掲載

対象 一般（高校生以上）

② 館報

- 第 24 号 平成 30 年 8 月 10 日発行（150 部）
- 第 25 号 平成 31 年 1 月 10 日発行（150 部）
- 第 26 号 平成 31 年 3 月 15 日発行（150 部）

③ ホームページサイト

平成 30 年度も事業案内、作品募集、成績発表、公告（事業計画、収支予算、事業報告、収支決算、財産目録、役員名）などの最新情報をきめ細かに更新した。また、フェイスブックを開設し、書道ならびに庭園に関する情報を発信。ホームページアドレスを、2 月に <http://seirankan.blush.jp> に変更した。

④ 学びネットあいち

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」を利用して、講座・講習会、イベント、資格、教材などの情報を発信した。

⑤ NOPODAS

非営利法人データベースシステム「NOPODAS」を利用して、基本情報、組織情報、事業内容、財務・会計、広報・お知らせ、寄附募集などの情報を発信した。

⑥ 愛知の博物館お出かけガイド

愛知県博物館協会が運営する「博物館お出かけガイド」を利用して、展示案内の情報を発信した。

⑦ 広報こうなん

江南市の広報誌「広報こうなん」にはたらきかけ、全国教育書道展の開催要項を掲載した。

⑧ 尾北ホームニュース

中日新聞傘下の地域情報誌「尾北ホームニュース」にはたらきかけ、全国養育書道展、書き初め展の地域入賞者名を掲載した。

⑨ 中日新聞

中日新聞の後援を得て、全国教育書道展の成績を「中日新聞」朝刊の各地域版に掲載した。

⑩ 書道美術新聞

書道業界紙「書道美術新聞」（美術新聞社）にはたらきかけ、全国教育書道展の募集広告、師範選抜書展の出品者名を掲載した。

⑪ 愛知健康マイレージ事業

県民の健康増進協力店として登録し、広報活動の一環として、展示室観覧料 2 割引き、粗品進呈をおこなうこととした。

Ⅲ 物品の販売事業（収益事業 1）

1. 書籍（図書）

書道研究・学習に有用な書籍図書を紹介販売した。

2. 用具、書道教具教材等

書道学習に必要な用具などの販売をおこなった。

3. 硬筆規定用紙

毎月の硬筆課題、検定試験の練習用紙・清書用紙として、硬筆規定用紙を印刷販売している。用紙の種類は次のとおり。

- A 用紙 B 6 版 タテ罫線 5 本 一般硬筆 2 級以上 A 課題、子供広場用
 - A かな用紙 B 6 版 タテ罫線なし 一般硬筆かな 2 級以上 A 課題用
 - B 用紙 B 6 版 5 文字×3 行 15 マス 2 面 一般硬筆 3 級以下 B 課題、学生用
 - C 用紙 B 5 版 タテ罫線 8 行 一般書翰文、書歴用
4. 刊行物
なし

Ⅳ 管理部門

1. 理事会・評議員会・監査会

(1) 監査会

日時 平成 30 年 4 月 29 日（土）午前 10 時～12 時

場所 晴嵐館 事務室

出席 監事 2 名 代表理事 1 名

内容 1. 監査の概要説明

2. 理事の業務執行状況の説明

3. 平成 29 年度事業報告書の説明

4. 平成 29 年度財務諸表および収支報告書の説明

5. 監事の意見聴取

6. 監査報告書署名捺印

(2) 第 13 回理事会

日時 平成 30 年 5 月 6 日（日）午前 10 時～11 時 30 分

場所 晴嵐館 錬心講堂

出席 決議に必要な出席理事の数 3 名、出席 4 名、欠席 1 名、監事出席 1 名

議事 第 1 号議案 平成 29 年度の事業報告書の承認について

第 2 号議案 平成 29 年度の計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び

付属明細書、財産目録の承認について

第 3 号議案 監査報告

第 4 号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決議について

第 5 号議案 その他 なし

(3) 第 7 回定時評議員会

日 時 平成 30 年 5 月 27 日 (土) 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 晴嵐館 錬心講堂

出 席 決議に必要な出席評議員の数 6 名、出席 7 名、欠席 4 名、理事出席 1 名、監事出席 1 名、書記 1 名

議 事 第 1 号議案 平成 30 年度の事業報告書の承認について

第 2 号議案 平成 30 年度の計算書類 (貸借対照表、正味財産増減計算書) 及び

付属明細書、財産目録の承認について

第 3 号議案 任期満了に伴う理事の改選について

第 4 号議案 その他 なし

(4) 第 6 回臨時理事会

日 時 平成 30 年 5 月 27 日 (土) 午後 4 時～4 時 30 分

場 所 晴嵐館 錬心講堂

出 席 決議に必要な出席理事の数 3 名、出席 5 名、欠席無し、監事出席 1 名

議 事 第 1 号議案 代表理事の選定について

第 2 号議案 業務執行理事の選定について

第 3 号議案 書道基金規定の制定について

第 4 号議案 その他 なし

(5) 第 14 回理事会

日 時 平成 31 年 3 月 3 日 (日) 午後 2 時～3 時

場 所 晴嵐館 錬心講堂

出 席 決議に必要な出席理事の数 3 名、出席 3 名、欠席 2 名、監事出席 1 名

議 事 第 1 号議案 平成 31 年度の事業計画、収支予算、資金調達および設備投資の見

込みについて

第 2 号議案 会員の承認について

第 3 号議案 その他 なし

2. 新しい寄附金税制と寄附金募集

平成 34 (令和 4) 年 6 月 16 日まで 5 年間の証明を受けた。所得税控除の適用を受けられることで、寄附金の募集を積極的におこなった。寄附件数は次のとおり。

- 平成 30 年 4 月 1 日～12 月 31 日 22 件 (前年比-6)
- 平成 31 年 1 月 1 日～3 月 31 日 132 件 (前年比-12)

3. 会員募集

会員規程に照らし会員募集をおこなった。平成 30 年度、会員の入会申し込みがあったのは、次のとおり。

- 維持会員 なし
- 賛助会員 1 名

4. 業務執行体制、内部管理体制

(1) 代表理事の業務執行報告

大池代表理事は、週に 3 日程度の間隔で業務の確認と執行をおこなった。業務内容は、事業事務、経理事務、管理事務、全般にわたり、平成 30 年 5 月 6 日、平成 31 年 3 月 3 日開催の理事会において、自己の職務の執行状況を理事会に報告した。

(2) 業務執行理事の業務執行報告

松川業務執行理事は、月に 2 回程度の間隔で業務の確認と執行をおこなった。平成 30 年 5 月 27 日の理事会において、自己の職務の執行状況を理事会に報告した。

(3) 職員

- 管理担当・・・施設・設備・顧客・経理管理、指導・教育
- 庶務担当・・・事務・用務・文書・役員管理、厚生、事業
- 学芸担当・・・作品・資料・図書文献管理、調査研究、企画

(4) 非常勤事務職員 (パート 3 名)

非常勤職員の事務業務は次のとおり。接客・顧客管理・業者対応・金銭等収受・経理・データ入力・受付・準備・記録・整理・電話応対・文書管理・連絡・清掃・その他事務業務に発生するさまざまな業務にあたった。

(5) 非常勤専門委員 (審査・編集委員 6 名)

(6) 競書、検定試験審査補助員

30 年度の委嘱は無し。

(7) 教室講師は次のとおり

- 大池青岑 (毛筆教室 日展会友・中京大学教授) (月 3 回)
- 岡野楠亭 (篆刻教室 日展会員) (月 1 回)

5. 福利厚生

職員の福利厚生および災害補償に対応するため、労働保険に継続加入した。

6. 団体加入

(1) 小牧法人会

- 小牧法人会江南支部通常総会

日 時 平成 30 年 5 月 14 日 (月) 午後 2 時

場 所 江南市商工会議所

内 容 総会、記念講演会「現代の南極観測隊は何を食べ、どのように生活しているの？」

派 遣 1 名

- 小牧法人会江南支部 税を考える週間記念講演会

日 時 平成 30 年 11 月 12 日 (月) 午後 2 時～4 時

場 所 江南商工会館 1 階ホール

内 容 総会、記念講演会「星に願いを歌ってどう相手に伝えるか」

派 遣 1 名

(2) 愛知県博物館協会

- 愛知県博物館協会総会

日 時 平成 30 年 6 月 14 日 (木)

場 所 名古屋市科学館

内 容 総会、記念講演会「浜松市における文化財と観光の取り組み」

派 遣 1 名

- 東海地区博物館連絡協議会

日 時 平成 30 年 8 月 1 日 (水) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

場 所 愛知県美術館、名古屋城本丸御殿

内 容 総会、施設見学

派 遣 1 名

(3) 江南市社会福祉協議会

地域福祉の推進に努めるため、江南市社会福祉協議会に継続加入した。

(4) 豊道春海顕彰会

大池晴嵐の師、豊道春海の事績を顕彰するため、豊道春海顕彰会に継続加入した。

7. 内部規程等の整備

平成 30 年 5 月 27 日の臨時理事会において、次の規程を制定した。

- 「書道基金規程」(制定)

8. 経理および税理士の関与

年度当初、前年度の決算書類等は代表理事が作成した。平成 30 年 5 月 22 日、平成 29 年度の事業にかかる事業税(均等割)等につき菱田純次税理士事務所(名古屋市昭和区)を通じて小牧税務署、東尾張県税事務所、江南市役所に申告納税した。

源泉所得税の法定調書は、e-TAX を利用して書類作成、平成 31 年 1 月 4 日データ送信提出した。

なお、30 年度中の経理伝票の作成と経理データの入力は主に非常勤職員が日々担当し、固定資産の運用と管理、次年度の予算書類作成、税理士への中間報告は代表理事が担当した。

また、資産を健全に管理し、金融機関の破綻に対応するため、財産目録に記載のとおり基本財産預金ならびに特定資産預金、通常預金を分散管理した。

9. 特定資産等の管理

岐阜信用金庫東江南支店(江南市今市場町)と契約(平成 24 年 4 月 20 日)の貸金庫を、土地・建物に関する書類、銀行定期預金通帳等の安全な保管場所として継続利用している。

10. 役員登記

任期満了に伴う理事改選はあったが、全員重任のため役員登記の手続きは不要だった。

11. 第三者機関による立ち入り検査

8 月 3 日、平成 29 年 8 月 3 日に実施の立ち入り検査結果が、概ね良好の旨通知された。

12. 行政庁等への報告、届出

(1) 平成 30 年度事業計画書(事業計画書、予算書等)

平成 30 年 3 月 13 日提出の事業計画書は、平成 30 年 5 月 31 日に行政庁の手続き処理が完了した。

(2) 平成 29 年度事業報告(事業報告書、決算書類等)

平成 30 年 5 月 6 日の第 13 回理事会に諮り、5 月 27 日の第 5 回定時評議員会で承認ののち、6 月 4 日付で公益法人インフォメーションのシステムから電子提出した。平成 31 年 2 月 25 日に行政庁の手続き処理が完了した。

(3) 平成 31 年度事業計画(事業計画書、予算書等)

10 月ころから準備策定し、平成 31 年 3 月 3 日の第 14 回理事会に諮り、3 月 4 日に電子提出した。

13. 第三種郵便物の定期調査(日本郵便株式会社)

- 平成 30 年 7 月 27 日、『書芸中道』の発売部数及び発売状況報告書の中川郵便局へ提出した。
- 平成 30 年 10 月 30 日、『中道』の発売部数及び発売状況報告書の中川郵便局へ提出した。(['中道』は定期調査の条件を満たしている)ので、3 年に 1 回の調査報告となった)

14. 建物(晴嵐館、錬心講堂、その他)等の管理

(1) 防犯・防火

セコム株式会社とセキュリティー契約を継続し、休日および夜間の外部からの侵入報知、火災報知による防犯防火を図っている。通用入り口に来館者のためのチャイムを設置。

(2) 施設設備の補修、改修、美化

- 本館展示室のガラス UV カットフィルター張替をおこなった。
- 2 階展示室の床面を WAX がけ。
- 本館屋根雨漏り補修工事をおこなった。
- 錬心講堂の床カーペットの張替をおこなった。
- 錬心講堂図書収蔵庫の壁面修理をおこなった
- 社団法人江南市シルバー人材センターと清掃等業務の契約を継続し、施設設備および庭園の美化を図った。

(3) 庭園の整備、美化保全

- 除草・・・草ひき(毎月曜日)、除草剤散布(4 月～10 月 1 回)
- 除虫・・・日常は噴霧器による
- 清掃・・・池(7 月)、地蔵・筆塚、庭園灯、南門、錬心講堂、落葉。
- 樹木剪定・・・随時。庭園専門業者(庭園師)による枝打ちを行った(3 月)。
- 植樹植草・・・シバ、スギゴケの整備。茶花の植樹を進めている。
- 打ち枝、枯葉の廃棄・・・専門業者に処分依頼した。
- 池管理・・・定期的に池の水替え、水底の藻や水面の枯葉除去し、鯉の餌やり成育につとめた。大小 25 匹遊泳。

平成 30 年度 損益決算書 平成 30 年 4 月 1 日～31 年 3 月 31 日まで(単位 円)

科 目	公益目的事業				収益事業 収 1	法人会計 (管理費)	合計 (A)	前年度決算 (B)	差異 (A-B)	当年度予算
	公 1	公 2	公共通	公小計						
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常収益										
①基本財産運用益										

1 基本財産受取利息				0		850	850	850	0	850
2 基本財産受取分配金				0		606,912	606,912	694,164	△ 87,252	694,000
②特定資産運用益										
1 特定資産受取利息			89,426	89,426		89,426	178,852	535,066	△ 356,214	175,000
2 特定資産受取分配金			248,478	248,478		248,478	496,956	496,956	0	496,000
③受取会費										
1 受取維持費			680,000	680,000		1,360,000	2,040,000	2,292,000	△ 252,000	2,400,000
2 受取賛助費			44,000	44,000		66,000	110,000	70,000	40,000	50,000
④事業収入										
1 展示公開等事業収益	187,800			187,800			187,800	81,600	106,200	90,000
2 競書事業収益		11,669,500		11,669,500			11,669,500	11,274,311	395,189	11,000,000
3 検定試験事業収益		4,695,470		4,695,470			4,695,470	4,712,180	△ 16,710	4,700,000
4 コンクール事業収益		4,782,133		4,782,133			4,782,133	4,771,790	10,343	4,679,500
5 セミナー事業収益		756,500		756,500			756,500	749,400	7,100	800,600
6 研修会事業収益		0		0			0	0	0	0
7 記念事業収益		3,570		3,570			3,570	0	3,570	0
8 施設貸与事業収益		2,000		2,000			2,000	2,000	0	3,000
9 物品販売等事業収益				0	249,422		249,422	333,206	△ 83,784	350,000
⑤受取寄付金										
1 受取寄付金			346,000	346,000		346,000	692,000	719,260	△ 27,260	600,000
2 特別寄付金				0		0	0	0	0	0
⑥雑収益										
1 受取利息				0		31	31	21	10	50
2 損害保険金			369,630	369,630		369,631	739,261	0	739,261	0
3 土地使用料				0		4,500	4,500	0	4,500	0
4 雑収益				0		22,094	22,094	24,540	△ 2,446	0
経常収益計	187,800	21,909,173	1,777,534	23,874,507	249,422	3,113,922	27,237,851	26,757,344	480,507	26,039,000
2. 経常費用										
1 役員報酬				0			0	0	0	0
2 給料手当	30,383	2,795,238		2,825,621	30,383	182,298	3,038,302	3,131,140	△ 92,838	3,186,000
3 臨時雇賃金	31,065	2,889,004		2,920,069		186,387	3,106,456	3,044,525	61,931	3,008,000
4 福利厚生費	105	9,661		9,766	105	630	10,501	7,122	3,379	10,000
5 交際費		25,667		25,667		1,351	27,018	22,420	4,598	30,000
6 慶弔費		48,260		48,260		2,540	50,800	10,800	40,000	60,000
7 会議費		142,719		142,719		50,000	192,719	212,978	△ 20,259	253,000
8 旅費交通費	60,832	439,980		500,812		57,058	557,870	544,006	13,864	617,300
9 通信運搬費	9,933	973,425		983,358		9,933	993,291	875,787	117,504	966,000
10 消耗什器備品費	1,598	156,644		158,242		1,598	159,840	108,000	51,840	60,000
11 消耗品費	1,673	163,927		165,600		1,673	167,273	640,753	△ 473,480	452,000
12 印刷製本費	57,595	7,889,795		7,947,390	142,560	0	8,089,950	8,064,829	25,121	8,130,000
13 賃借料	3,741	366,597		370,338		3,741	374,079	324,655	49,424	371,000

14 修繕費	28,971	1,376,124		1,405,095		43,457	1,448,552	278,860	1,169,692	200,000
15 光熱水費	4,025	394,455		398,480		4,025	402,505	404,549	△ 2,044	420,000
16 火災保険料	8,333	11,458		19,791		1,042	20,833	20,833	0	21,000
17 諸謝金	2,400	220,760		223,160	2,400	14,397	239,957	252,985	△ 13,028	253,000
18 調査研究費	1,900	7,920		9,820			9,820	34,200	△ 24,380	32,000
19 審査料		237,000		237,000			237,000	262,000	△ 25,000	322,000
20 保守費	152,928	210,276		363,204		19,116	382,320	382,320	0	400,000
21 施設管理費	7,200	662,400		669,600	7,200	43,200	720,000	720,000	0	720,000
22 租税公課	710	65,320		66,030	710	4,260	71,000	71,000	0	71,000
23 支助助成金		140,000		140,000			140,000	140,000	0	140,000
24 寄附金				0		2,000	2,000	2,000	0	2,000
25 諸会費	20,000			20,000		4,000	24,000	24,000	0	24,000
26 作品表装料	184,700	717,828		902,528			902,528	794,100	108,428	900,000
27 会場設営費		27,694		27,694			27,694	965	26,729	1,000
28 原稿料		707,000		707,000			707,000	672,000	35,000	700,000
29 揮毫料		59,130		59,130			59,130	60,270	△ 1,140	65,000
30 表彰費		1,706,392		1,706,392			1,706,392	1,717,141	△ 10,749	1,850,000
31 広告費		43,200		43,200			43,200	48,200	△ 5,000	44,000
32 資料費				0			0	0	0	100,000
33 図書費		158,772		158,772			158,772	130,266	28,506	250,000
34 庭園管理費	197,375	197,374		394,749			394,749	326,295	68,454	400,000
35 支払手数料		54,606		54,606		2,874	57,480	55,784	1,696	60,000
36 物品等仕入費用				0	91,429		91,429	45,139	46,290	100,000
37 減価償却費	244,480	336,160		580,640		30,560	611,200	646,367	△ 35,167	611,200
38 退職給付費用	3,000	276,000		279,000		21,000	300,000	300,000	0	300,000
39 雑費				0			0	0	0	0
経常費用計	1,052,947	23,510,786	0	24,563,733	274,787	687,140	25,525,660	24,376,289	1,149,371	25,129,500
当期経常増減額	△ 865,147	△ 1,601,613	1,777,534	△ 689,226	△ 25,365	2,426,782	1,712,191	2,381,055	△ 668,864	909,500
2 経常外増減の部										
1. 経常外収益										
1 美術品増加益	275,500			275,500			275,500	75,000	200,500	0
2 貯藏品増加				0			0	8,180	△ 8,180	0
経常外収益計	275,500	0	0	275,500	0	0	275,500	83,180	192,320	0
2. 経常外費用										
1 固定資産除却損				0			0	0	0	0
2 貯藏品減少				0	1,238		1,238	0	1,238	0
経常外費用計	0	0	0	0	1,238	0	1,238	0	1,238	0
当期経常外増減額	275,500	0	0	275,500	△ 1,238	0	274,262	83,180	191,082	0
他会計振替額			0	0	0		0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 589,647	△ 1,601,613	1,777,534	△ 413,726	△ 26,603	2,426,782	1,986,453	2,464,235	△ 477,782	909,500
一般正味財産期首残高							217,787,124	215,322,889	2,464,235	

一般正味財産期末残高						219,773,577	217,787,124	1,986,453	
II 正味財産期末残高						219,773,577	217,787,124	1,986,453	

公1は事業報告の公益目的事業1、公2は同事業2、収1は収益事業

寄附者リスト（寄附順）

平成31年1月1日～3月31日まで
大池龍子様、中井治泉様、寺田小華様、梅村悟司様、師範会員（128名）様

この度はご寄附を賜り、誠に有難うございます。寄附規定にございますように、3分の1以上は公益目的事業に使わせていただきますとともに、施設設備補修の費用に充てさせていただきます。

第8期 寄附金募集

晴嵐館本館2階展示室の雨漏りによる天井修理、ベランダ改修、錬心講堂通用口手すり取り付け、南門入り口老朽による改修、門扉取り換えをします。皆様方からのご芳志をお願い申し上げます。

寄附金の振込先

郵便振替口座 00850-1-45233 晴嵐館まで
※晴嵐館へ寄附されますと、確定申告時に所得控除を受けることができます。詳しくは税務署または税理士にお尋ねください。「寄附金受領書」と「寄附控除に係る証明書」は、年明けにお渡しいたします。

令和元年度、会員募集（新規・継続）

- 維持員会費、年額1口 12,000円（晴嵐館の目的・事業に賛同する個人）
- 賛助員会費、年額1口 10,000円（晴嵐館の事業に賛助する個人または書道関連団体）

※会費の3分の1以上を公益目的の事業に使用します。

晴嵐館の目的および事業（定款より抜粋）

（目的）この法人は、書家大池晴嵐の作品を始めとする書道作品及び大池晴嵐の作品製作の場となった庭園を公開・開放するとともに、書道芸術及び書道教育に関する事業を行うことにより、書道文化の振興及び書道教育の発展に寄与することを目的とする。

（事業）第4条この法人は、前条の目的を達成するため、次の公益目的事業を行う。

- ① 書道作品等の収集・展示及び庭園の公開に関する事業

る事業

- ② 書道に関する講習会、展覧会その他書道教育に関する事業

名誉顧問（敬称略）

大池廣

特別維持員（敬称略）

江良昭雄

役員名簿（◎=代表理事 ○=業務執行理事）

評議員	大池圭子	佐藤孝憲	佐分力夫
	田島毓堂	野木森雅郁	長谷川正則
	波多野美也	牧野圭佑	森 邦明
	安田文吉	山田茂美	
理事	◎大池茂樹	加藤三紀彦	千田道弘
	滝 尚文	○松川良治	
監事	片山泰宏	山内康男	

晴嵐館情報QRコード



ホームページ・メールアドレス・住所・地図が登録できます。

この館報のバックナンバーは晴嵐館ホームページでご覧ください。

せい らん かん
晴嵐館

書道の美術館 公益財団法人

〒483-8187 愛知県江南市大海道町青木 22 番地

TEL 0587-56-3170 FAX 0587-22-8790

Eメール info@seirankan.blush.jp

mail@seirankan.blush.jp

ホームページ <http://seirankan.blush.jp>